

Automatically translate to your preferred language by Copy and Paste GOOGLE MULTI-LANGUAGETRANSLATOR(翻訳アプリ)

自国第一ではなく、助け合う世界へ

私は現在、被爆者としてカナダ、バンクーバーで被爆体験を語っています。殆どの人にとって、直接、被爆者本人から証言を聞くのは初めての体験です。私は核兵器廃絶がいかに大切かを知ってもらうため、現在の核兵器はヒロシマの1000倍もの破壊力があり、世界に1万3000以上の核兵器があることを話題に取り上げています。一人でも多くの人が原爆の悲惨さや核の恐ろしさを感じ、それが平和運動へとつながってってくれることを願っています。

一方、社会が今のコロナ禍を通して、どのような方向に変わっていくのか不安がつのります。社会が閉ざされて日常生活はとても不自由ではありますが、散歩していると、人々は "ハロー、Good Morning" とにっこりした笑顔で遠くからでも声を掛け合うようになりました。また歩道や庭木の下に転がっている石にペンキやチョークで Peace, Safe, Have a good dayなどと書かれていて、心が和みます。反面、私がアジア人ということで、私のそばに近づくのを避ける人、極端にアジア人に対して悪感情を示す人もいます。さらに多くの若者が職を失い、日々の生活が困難になってきていることも深刻な問題です。

コロナはアメリカ、中国に新たな冷戦をもたらしたという人もいますね。でも私は世界中がコロナの問題に対して、協力し合って相手国を思いやり、助け合うことが大切であると思います。国境のバリエーを取り除き、若者達の留学、音楽、芸術の文化交流などを促進していくことこそ肝要です。一人、一人が社会の何かに役立つよう、小さなことでいいから草の根的に進んで行動を起こし、自分さえ良ければいいという利己的な考えではなく日々の生活に心のゆとりをもって、しっかりと社会をみつめてほしいです。自分や自国第一という考え方が現代社会や世界の一部で台頭してきているように思われますが、若者は相手を陥れたり、無意味な競争をしたりせず、グローバルな人間として成長してくれることを願っています。